50 years
昭電は、おかげさまで50周年

SHODEN

情報化社会に 安全と信頼を提供して50年

総合安全企業である昭電（東京都墨田区、太田光昭社長、03・5819・8811）が10月15日、創業50周年を迎える。情報化社会を支える設備・機器を雷や地震などの自然災害から守ったり、最適な状態で運用するための環境整備をするなど、一般消費者には馴染みが薄いものの日本の経済成長を影で支えてきた「縁の下の力持ち」的な企業だ。新たな飛躍に向けて、昭電は強みをどう生かしていくのかー。その背景を探った。

太陽光発電所BCP対策モデルパーク

昭電が産声を上げたのは1965年（昭40）。前年には東京五輪が開催されて放送・通信設備が整備され、東海道新幹線が開通するなど日本が情報化社会に向けて歩み出した。日本経済が高度経済成長を遂げる中、昭電は日本の情報化とともに歩み、成長を重ねてきた。

昭電の顧客は、電力、通信、ガス、鉄道など多岐にわたる。業態ごとに、設備を守るために講じる安全対策は異なるが、昭電は「ワンストップソリューション」の展開で、高い支持を得ている。

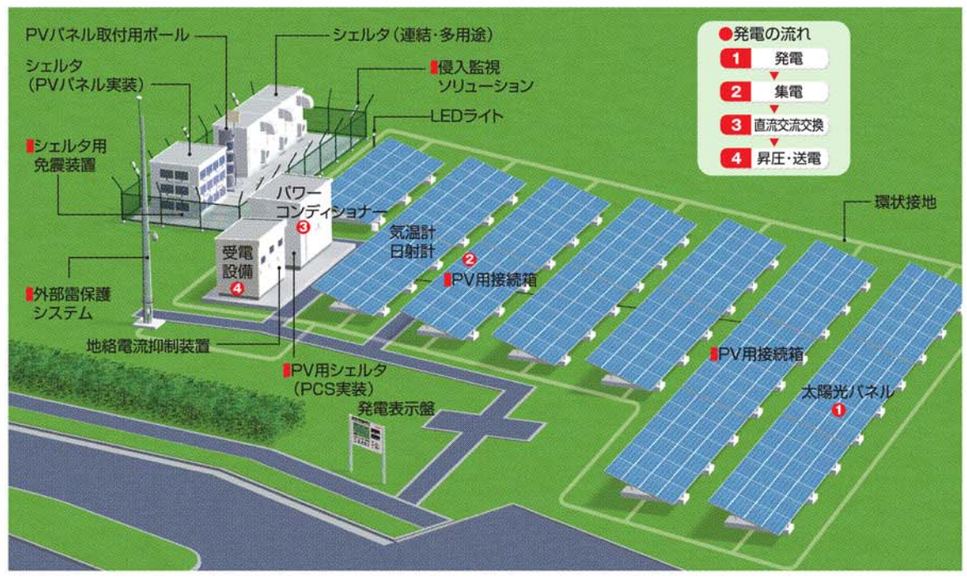
昭電の事業領域は「雷害対策」「地震対策」「ネットワーク」「セキュリティ」「ファシリティ」の五つに分かれる。その5セグメントを、顧客の要望ごとに組み合わせて最適な安全対策を提供できるのが、昭電の強みだ。

例えば、太陽光発電所を営む企業向けに事業継続計画（BCP）対策を紹介するために、今年5月、成田工場（千葉県香取市）にオープンした『太陽光発電所BCP対策モデルパーク』は、ワンストップソリューションの具現化の一つだ。約1900平方㍍の敷地に太陽光パネル360枚を設置した。

その周囲に直撃雷による設備破壊を防ぐ外部雷保護システムや避雷器（SPD）、パワーコンディショナーを格納するシェルターの免震装置、侵入監視ソリューションなどを配置し、実際の使用環境を再現。豊富な実績と技術で、製品はもちろん、工事・施工まで1社で完結する姿勢を示している。災害や被害の多様化、細分化が進むだけ、とるべき対策も高度化する。昭電に求められる役割も、ますます大きくなる。

技術革新やコストダウンにより、通信設備の小型化・薄型化が進む現在、それらを雷や地震から守るため、製品に対する要望はますます高度化している。『当たり前の生活を、当たり前のように営むために、我々は頑張らなければならない』というのが、昭電の従業員の共通認識だ。

昭電はワンストップソリューションで、顧客の期待にこれからも応え続ける。



interview 太田 光昭 社長

防災対策の重要性を訴求し本物をつくりつづける

―10月15日に創業50周年を迎えます。この間、自然災害から情報通信システムなどを〝護る〟製品群で産業界に貢献してきました。

「目に触れにくい製品ですが、あたりまえに送るための〝縁の下の力持ち〟だと自負しています。社是である『進歩と和』、経営信条である『信用を重んじ、確実を旨とする。技術を通じ社会に貢献し、社業の繁栄によって従業員の豊かさを築く』を貫き、これからも事業にまい進して情報化社会に安全と信頼を提供します」

―大地震やゲリラ豪雨といった自然環境の脅威が増しているだけに、防災ニーズが強まっていますね。

「防災対策が必要な場面は確実に増えています。技術力の向上やコストダウンによって情報通信システムは軽薄短小化が進んでいます。一方、地震や雷のエネルギーが小さくなるわけではありません。強大なエネルギーへの耐性を高めるため、当社に対する期待感も高まっています。通信設備や太陽光発電設備は機械的要素と情報システム的要素が組み合わさり、従来型の対策では事足りなくなっているため、お客さまは『どのような防災対策を講じたら万全か』と頭を悩ましています。当社は『雷害対策』『地震対策』『ネットワーク』『セキュリティ』『ファシリティ』の五つの事業領域で展開しており、これらを融合して雷・地震対策のワンストップソリューションを提案します」

―製品群には高い信頼性が求められますね。

「〝本物をつくりつづける〟ことにこだわり、厳しい試験を徹底しています。例えば『テクノセンタ』（千葉市稲毛区）には建物への直撃雷で流入が想定される最大電流200キロアンペアを発生できる雷インパルス電流発生装置を導入しています。200キロアンペアは日本海で発生する世界最大級の冬期雷と同じレベルです。製品が使用される環境よりも厳しい環境で試験し、信頼性を確認しています」

―近年、再生可能エネルギーの普及や電力の安定供給のための事業継続計画（BCP）が求められています。5月に成田工場（千葉県香取市）に開設した『太陽光発電所BCP対策モデルパーク』は、こうしたニーズに応えるという姿勢を具現化したものですね。

「五つの事業領域の技術陣が参加し、昭電の考える『防災・防犯対策の万全な発電システム』を構築しました。太陽光パネルやパワーコンディショナー（PCS）をはじめ、侵入監視ソリューションや雷保護システム、PCSを納めるシェルター用免震装置を設置しています。お客さまの声を収集し、新製品の開発につなげる場にもなります」

―100周年への一歩目を踏み出します。

「事業指針である『情報化社会に安全と信頼を提供する』を追求し、お客さまから『情報インフラを構築するなら昭電に任せよう』と言ってもらえる企業を目指します。当社の社風は派手さよりも堅実であること。これからも防災対策の重要性を訴求し、一歩ずつ成長したいですね」

昭電 50年の歩み

1965年（昭和40）
東京・千代田区に（株）昭電を設立。

1970年（昭和45）
ダクトフロアの耐震工法を開発し、電力会社の通信機器室に納入。

1971年（昭和46）
電気事業連合会のSPD（保安器）を中心に認定メーカーとなる。

1975年（昭和50）
東京都江東区に当時の本社（現SCセンタ）を建設。

1986年（昭和61）
免震装置を開発し、電力会社に納入。

1986年（昭和61）
日本IBMの通信機器特約店。

1987年（昭和62）
千葉県千葉市にテクノセンタを建設。

1995年（平成7）
千葉県香取市に成田工場を建設。

1998年（平成10）
太田昭吾会長が日刊工業新聞社優秀経営者賞受賞。

1999年（平成11）
サンダーブロッカーを開発。翌年グッドデザイン賞受賞。

2004年（平成16）
東京都墨田区に本社を建設。

2005年（平成17）
免震装置「SD−5 typeⅡ」を開発。

2007年（平成19）
テクノセンタに最新鋭雷試験設備を導入。

2010年（平成22）
太田昭吾会長が旭日双光章を受章。

2010年（平成22）
SPDのハイエンドモデル「ASLETE」APNシリーズ販売開始。

2014年（平成26）
「BCP対策モデルパーク」を建設し、BCP対策製品を稼働展示。

昭電50周年記念サイト
昭電を代表するエピソードについて詳しくご紹介しています。
www.sdn.co.jp/50th/

情報通信ネットワークを災害やトラブルから護る「昭電テクノロジー」

雷害対策　電子機器・ネットワークシステムを雷害から護る

SPDは雷サージから電源設備や通信設備を保護するために、保護対象機器の電源または通信回線引込部に設置して、雷サージを安全に放流する機器です。昭電では雷サージの侵入ルートに合った様々なSPDをラインナップしており、お客様の大事な電子機器やネットワークシステムを雷害から護ります。

また、雷撃によって生じる火災や建物の破損、建物内部の人命を雷被害から護るために、避雷針で受けた雷を大地へ安全に導く「雷保護システム」も提供しております。

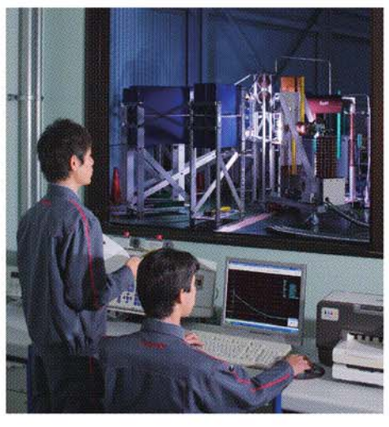
通信用SPD ASGシリーズ

電源用SPD ADNシリーズ

雷害対策拠点「テクノセンタ」

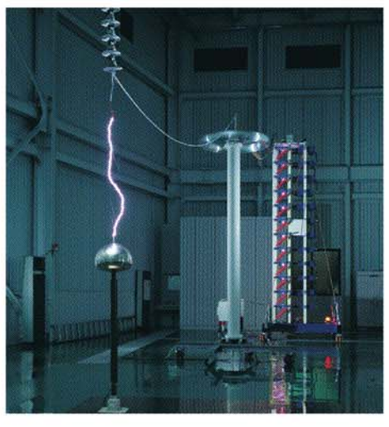
◆雷インパルス電流発生装置

建物への直撃雷で想定される最大電流200kAを発生させることが可能な世界最大級の雷インパルス電流発生装置です。SPDの限界性能を評価・シミュレーションを行っています。（2007年に完成）



◆雷インパルス電圧発生装置

2002年に完成した国内トップクラスの雷インパルス発生装置です。最大120万Vの雷インパルス電圧を発生させ、そのサージの影響を測定。直撃雷や誘導電圧から人や通信機器を保護するため、SPDのシミュレーションを行っています。



地震対策　地震による被害からサーバと情報を護る

阪神・淡路大震災、東日本大震災など地震は日本企業にとって発生確率の高いリスクとなっています。近年、日本企業は大地震や大規模災害などの災害時に、資産の損害を最小限に止め、中核事業の継続と早期復旧を可能にするために取り決めておくBCP（事業継続計画）の策定が広がっています。

昭電では長年培った技術とノウハウで、情報通信設備の地震被害を未然に防ぐ製品を開発し、三次元免震装置や耐震構造フロアの提案など全国のデータセンターやサーバールームに数多くの納入実績があり、お客様の事業継続の中枢である情報通信ネットワークを護ります。

◆三次元地震波発生装置

阪神・淡路大震災クラスの地震波加振や定常波試験も行える国内有数の振動試験設備。近年の都市型大震災を再現して、製品性能試験の実施・検証により信頼性の高い製品開発に活用しています。

3m×3mのテーブルに、前後・左右・上下の各軸単独加振または同時加振が可能です。加振源である振動台を主体とした加振装置と動力部である油圧装置、制御装置により構成されています。

ネットワーク　お客様ニーズに応えるネットワーク構築技術

情報通信分野における豊富な製品ラインナップで、ネットワークインフラのシステム設計から導入、保守、通信・設備工事までを含めたソリューションを提供し、多様化するお客様のニーズにお応えします。

セキュリティ　先進のITで「万が一」の侵入・火災を防ぐ

昭電では、不正侵入者の抑止や記録に効果を発揮する映像監視システムやICカード・生体認証を用いた入退室管理システムのほか、温度や電源など設備の稼働状況を見守る環境監視システムなど、ネットワーク技術を駆使したセキュリティシステムを提供しています。

ファシリティ　究極の安心を追及する冗長対応設備

情報通信ネットワークをさらに安心して運用できるよう、様々な設備を提供し、稼働環境の最適化を実現します。例えば電気・通信・空調・建築などの総合的な技術が求められる通信用シェルタの設計・製造・施工にもその技術が生かされています。

株式会社 昭電　本社 東京都墨田区太平4丁目3番8号 TEL.03(5819)8811　北海道011(271)6701　東北022(222)1401　名古屋052(936)3311　北陸076(431)2011　大阪06(6345)3221　中国082(246)5711　四国087(821)9231　九州092(731)0373　沖縄098(869)0215　www.sdn.co.jp